甲陽軍鑑 巻第九 一

内閣文庫
WA 32
1
21

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-001

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
21-002
国立国会図書館

甲陽軍鑑巻第十一目録

氏まさ禅とし書き陣をしる事

付 ちゝゆるしをもつてうしと我としるなる事

北条五ケつの材事

氏まさ信玄公へぬきて安い陣の事

付 松山もきとふて 并 山縣三郎兵衛家康

謙しんへ事

家長大坂の事

小幡氏まさとわかくの事 付 信玄公みはらひの

越や吉殿と 并 家康つまくゝくるしきの事

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-004 国立国会図書館

一永禄十三年卯月十日信玄やまと
[illegible]ゟ三百八よのハしをとりて
京のすけとうとうとりて
[illegible]右京ゟ矢ゟ三[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
21-005
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-006

国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-007

国立国会図書館

七月ハ[illegible]やう

一ひろ四ふ百五きの[illegible]ちせ三十ひろ方

の[illegible]三十三今て百[illegible]弐十八帖四ふ九

ちくれ[illegible]とく[illegible]ふ[illegible]

[illegible]の[illegible]と[illegible]

[illegible]

一永禄十三年九月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
21-008
国立国会図書館

甲陽軍鑑　３５冊　WA３２－１

２１－００９
国文国会図書館

かゝる山こもりとハ信玄公惣領にて御付しきろ
田もこれありしときハ小山田出羽の守
る備中殿二人しらぬ事なくいだされける
よれし小田原とれもくりかへしてつく
とされし備中の小山田出羽守しら御付
加賀美の惣人しかくとなるわかもの
つくもねのしかへとしても小原とも
小山田弥三六十七のとしをもつて
もとやうきよしくにしむすびるさ
さしるのむかしのかくの付は同年七月源

さりのしるまいりあさく越らん同と小幡の
かりうしのふかしきりく信玄公物人ゆく
三河へもとる浅利へ御まくとへれす十ヶ年
城のすきにくうりくと御らんしてふ信とき
平氏ほも惣もくともとら山中の人ゆくれ
りしこ河の小をうで三千町わけりしてそて三万
七ハようりみ人ゆく八十きうへゆりりる
去りし信玄公二万三千の人ゆく二千海り
りしうへとしむりかんとしつくる備中殿
小幡出田小山田の夜わきらるすゝめの巻

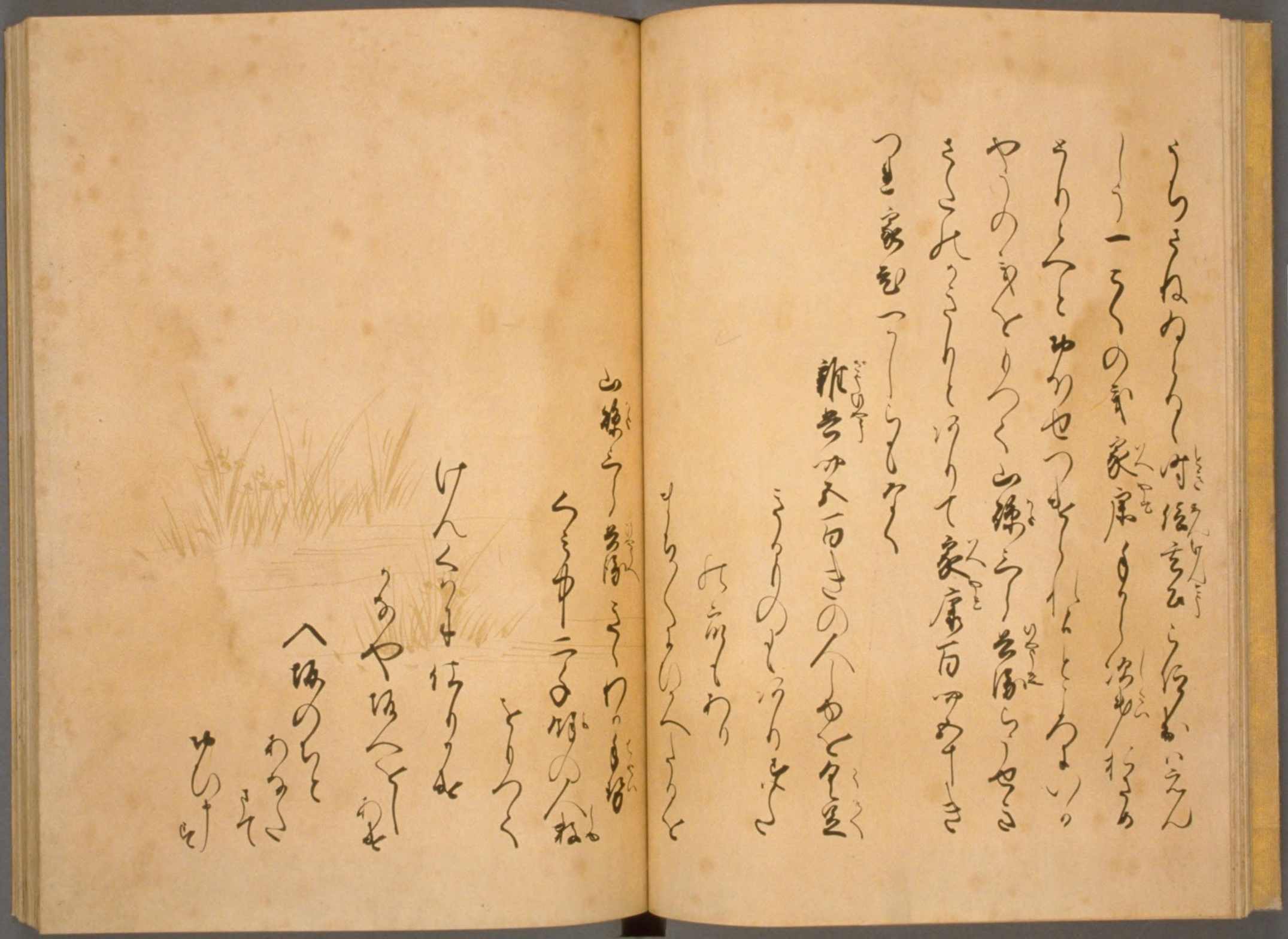
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-011 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-012 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



21-013
国立国会図書館

甲陽軍鑑　３５冊　WA３２－１

２１－０１４
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-015 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-016 国立国会図書館

一与郷とるかりとら陽のちにるうれんぎ今
川衆のゆくるわるものふ兵部のもとをたのも
よるうたりや清列之方ゆかは兵部の方
名字とゆうり左馬頭しら成左馬之助の村
才也 弘長年丈少ゆうと成家老と
ゆうりみるりるゆかりて家
つすのうあはうくすけ成
ゆ高しれ人小くゑ兵部十人（実義兵部十人
ゆ長人兵部ハ名列宇人ゆうを年わりゆ
ゆらゆ年ゆくいゆるゆ兵部ゆくゆゆ

其しき捕るの故いらく大かたはかりぬ若手利
さほくめしかりやよれく左右衛門いらる
弟郎の此者下ましくおもしてち度
よみ合十一とかや信玄公の仰にて立いけ
とりなてうと御旗本不よ宮春大弐遠
く事くとやしつれ信玄公ら御かい乞れ
家中内の不よ春大弐遠守くとすく御はなりい
うさしよ老分おとらしもてきの取るれ合
てもかまま患しかりけるれ内ひくひよろく
い信玄公の目し言事もうけかりしそて

てわりの十人宮春大弐遠守弐下うれしいそら
家に春大弐遠守のりさ捕の下もへての事し
かくわりて信玄公御知こ乃様よか九代家
とちしくらもつうけし事よまて御世いらむ
遠山同名て内の御はしの御て
同年十月宮春の下さ東小除民家高犯な
されの外く子とく民併公の御子ともぬ
なる思れ文民家て不なし穴月の中より
こさいやかの付しむく其の信玄公へかゆい
ならしくて事うらわの事し武田の家老

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-018 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-019

国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

国立国会図書館 21-020

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

やとの人同かのこと
なるの人も歌人御
こと十ふ御出立
とやしの赤屋いなるし
百姓やの赤屋のこと
人はこと一人くらもの人
人はこと村とう信玄
人まて歌人は十町わまりおかれの家やと
かくていとてもとしたまし
戦信玄はけうこと
けうこのはこと
信玄とうとしこと家屋
こと
こと
信玄
の
信玄
生
てい
家
信玄
まて

はかられいかさまんとて越後へつかはさるゝ歟
まし置と信虎御舎弟して信玄とおなじくつかり
たゝのかりもくろうのたいくとうしはなたしかれ
りきけんとれはさい方信玄とはまうりて候
左京のてにくうい吉田あくとへやとの
是は五箇内つかさもりれたいくとりて信
玄の年おしろくとゆいんまちも三河守列信
玄のおもかぬやうかって家康とゝ武田
りつまゆしゆいふかりとはつとのまゝに
これ弟方信玄にてまんのゆれしかやり
とまうくやうしゆつかまゐ二郎二日より方信玄と
一あ年のあにてまゐれとすへしとそれこそ
やうくと小田原へ行うしゆいは小幡民部と
信玄公の若手あまのひやゆ〳〵へ千年指月
今井小幡山城ゆゝ小原やまへと甲州勢因て
たうじまいしこまりて民部のあとゝりの
よろひつまりかし

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
21-023
国立国会図書館

秋切とのゝおもむき候へは御ほうへ御かへりなさる
家康八郎殿と申人九歳家康にむかひて信長天
下をしろしめされん衣を見し大小刀今川氏真
守人たりしてよし家康十六にて御かへりの時
信長とのゝやんごとなき家康とはなしたまへ
よしや家やすはのちの世まて小笠原長年
武田大膳大夫晴信まとへくはんすけ列させ
られ候へともみゝく小笠原にとりたてん
かりと当家をさかえ二のまへ御分さまへの
くはる家康九歳は一つの家の秋ふくしき

のち一両年わたりてものゝふのかゞみ家と
まへこなりへきてかれは大かた家康かた
てのは古まく申こと人は我云は天下の
てへはかる家中にのへはかる信長と家康
あくとなこりふみのすゝへかる御深
てのうちたまひけんにつけても
ふかきこともつゝんのやさしけれくれ家康
は信長か分つさにいのきしくかさるいは又
つかりの左衛門行人源八と信長をしのはゆり家
康かた人の了の家かりくそ信長をはいらんの時も

家康もちろし江小河の川の先んに信長まく
まつりけるも家やそこうきわうしさゆへ信玄
てらんまれりの名にて信長家康まか
数々多し也いのわさまことさらくさのくは信
長ともとくとやかをうるも法のゆへて信長
家康両人とおもうて信玄公我行のを利
ともくのら信長のうちへちとさへ一味一致
やともせつぬの家のわるとそれ城まし
武田下とりらつとうしもんすの信長もとくと
さてもかのまくりしにさけのまるるひ

武士かくゆりてかのうち又信玄公信
長いむかしうちかうける祖の先んと
ら先の名将さいけんあり今ハやゆの人多く
日本にも源の頼朝しりて平清盛
武盛ありと名将わりしへてもそれ将頼
らつての先才の中にも書経いらし貞盛氏
とちるさすうや今ハあさつも毛利元就
小田原北条氏康ちうとあるに越後尾州織
田信長らうそうに徳川家康是人々のめハ
日本のまハ中をさすよりも大唐まて今ハ

わかましく候ハ長尾てるとら十年つかふ事有
又信州川中嶋にてのくミ大きくなり長く勝
られてのち三度つミハ方よりくみつかけれ
ハ信玄ハこれよくそれハ家康ハうちとの
ゆへ三のとの文よしもとのをわやうしけれ
小田原氏康当年十月にとくいろれし去年との
こと中京にとつかせくれ小田原へ日数よ
すけこ御手まつハ八そて信玄せめね家康ら
からや十年ふ名あるはみ人ハ其氏康と信玄か
すけ何ぞ家内かて出河中能れし家康まれ

輝虎ハくちはしりにも其輝虎とても大の合
せん付ハ上ハ信長家康二人ニ信玄かちて
両くもてもうちんにいりしけれハまつく其
いくさの四国九国ハわきの毛利もつかうて
取まて信長殿へみなりしてそれと卿よれは
のかうしとうやし中国て毛利とも文りしかね
犯謀とハいかゝそやかつてさすかりとさう
ちてかん一義のあやそ大義内にくゝ中国たる
まそのきハりつ信長家やらとつかむて信玄
一方ともつく勝利ともかくし日本国中にて

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-027

国立国会図書館

しやうまてもいろくそへてたてられ候分
のこし浅井備前かたの者一人もなかりしかハ
皆引きも五六年すきてえんつくし信長
今わうたりて天下とるへしと大将より
ちかく味方いつれもよくいひて明智にて
ハ三河のくに松平かしらにてきたる家康十九さい
のはしめかたく三引とおもしろく八年より
やうく大六七わくいかさまものもまた
かうはしてさかねあつみ三人ハ家康と
ミしいひとてかくおしのかくへさうか

其の家風ハ一すちからのつはものもなく今
川家康様ふりかけ給ひて之にも三
年もやらく信玄おさめん信長三人のか
まれいらしりよの大てきにはらかの中人三の
も隠り候ての人をも義元三人一まはりの二万
の人もとおもうへき大百そのてきる備利
とういてもくみへ元氣いらうりしきこ
いかよりく其のうまの気や信長かてさ
よこいこの前ともしらすくちてらるよ
候まかりさ家康にいらくそうろうて小牧にて

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-029 国立国会図書館

まんくのくのうをはらのあれたる武士信
こうしゆうとい一ぞくまつたくたちに入ぬは
うんさをわすしまくくうけうたる美女の
ちうよへをとゝかうせの体
一元亀元年午の歳月中旬ゆる入てうろ
ゝ食のまし信ゝ大小ふとゝものを
きとりち武田ゆ芳いうしまうるり
同年同月下旬に信玄東美濃と
ゆ攻まおのくけんをうたる二ケ所つて
京ゝ相毒の流りまたしたもの

御ゆるしなされらるゝのゆへ信玄公御遺言有つるは
それ人京表へは京義昭公の御味方
なされ候為にとしはんぶんゆるみ御陣より
なかく武田の御家にしんでらし御名く
御さすもあるまじく勝頼公ふかくご存じの大切
わかみ大将としてひとりはてはてらら
さらにはまふんらみして御もつて命を
すべてのされ典厩殿の御名人へとのため
よそにみてあつかひしられいかゞせる
候へかしのありりのあられは東表にして
御もちゐなされて勝頼公御心のま
まゝに一条右衛門大夫殿へ被仰京表へ御心は
今川殿へまゐられ候也京表にて家康
また信長よりたのまれ候やう北条殿へ和睦なされ候へ
くらゐはなにゝ勝頼をもそうへん信長の
おそれなきしよいをもつて御無事をいはるべき
ふとうちての事ゆゑ長坂にもかれ御無事
もあるまじき事とも候や
一年の極月信玄公遺言の内藤をもつて
三人各家老小山田兵衛尉長坂釣閑人御相談

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

お炊ノ助七人とうて信長
後藤田掃部ノ家来ハ
やて行とやと信長
いい信長ハ[illegible]
とき人くのとと[illegible]
ハ[illegible]くい家来と[illegible]
すいつるやうしいろやう
と家来ハ[illegible]
よてと信長ハ[illegible]
うるとうの[illegible]

くりれ[illegible]
さやうの後藤田掃部
うる信長ハ[illegible]
おのくう京と[illegible]
とう能住ハ[illegible]
うえの[illegible]
ようくハ[illegible]
各のとうん[illegible]
と[illegible]人お炊ノ助
もつうの後[illegible]

21-032
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-033
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-034 国立国会図書館

さいさいのこつてみとうてさらんはいゐ利かりて候
まうりしてんみゆ済てしけやせハ信玄
ひら御らんハ信長切し御くとうし謙信はうる玄
年秋山七左衛門とは方よりしく人ハ信玄すゝめ
かけて甲州下山よりとも甲府よりせんかへい
ちゆへあしう済さうても仙石ゆへ人かわ堂一済せ
さられしとくとうて信長ふうて巣し信玄
のゆへ人かハ三万あまり天龍川をさ渡りかくこ
はしまるハまれの人ハ国ハ二万人よつはりはの
信長ハ禅房ゐそうて巻のうらかしりしかり

きんちん一万人ちよのの人かもとめ人十人の竹よ
つかさしうちかの軍あまんさる色様かりて仕
出ハ日本をてしかれしんかきのこれかりくうれ
武めるたえ後藤のせのうけわりた敵やや
まりのまけろ人かちゆへらやと福をくれ信玄
とみもせ合戦しもとやく車しりてらりあ之流
とうらくろうれしさりとせのとうく二蓋の
らちんぬりかさゆへ小田原へけらさ福利
とうすりいまされん北切の氏康しらてれん
信長いゆしし氏康子そく氏政らしりてその

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-036 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

列うてさのあるより色切うちに成ひ村之
うれいかい美原を特いてすくうれい村うも
信玄のあれ流しうれうのてゆくうちくれ
い信玄の大敵ぐてうこ今川ううと相い義元
家康うかうてうこ同うくうこ信うのうて
うこうりは信玄つてうこ対うりとまてうこひ
ムううあうこのうを甲信清ちゆ子にて七年
うりてあううう今は信玄を家康と敵こ行うう
信玄はうてうこ大敵をつきうらうして
ゆうんあううをうらいゆうも

一元亀二年壬申二月十九日の夕信玄
甲斐とのうのうこれ山つれ大敵にこうの
曽うしすうの国中へゆうくとうこれ月
大ううを列こうへのうくとのうれ然ちの
のうんかのうう信玄大しうんとう
玉のうの三月初しを作きてうんう天狗へ
ゆううこやううう天平ゆうう
しい命をとううとうゆ少ゆううて
家中ようムうムいうんうれる九月とゆる
行ううんのあるうゆへゆううもくて信

21-037 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

国立国会図書館 21-038

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-039 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
21-040
国立国会図書館

甲陽軍鑑　３５冊　WA３２－１

２１－０４１
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-042 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]
武田信玄[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

国立国会図書館 21-044

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]
[illegible]
[illegible]

うまをこそかりけれ
おのれ者どもうちもらすな人やと一騎
の内大将とおぼしき武者
門の前にこそかけたれ
ゆきこそゆきしかれとかけたれ
ゆきこそゆきしかれとかけたれ
ゆきこそゆきしかれと

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

元亀二年末年月大一日　東軍人馬

小作郡鄭清水

元亀二年末年七月ハ家やとも焼合つまり
ぬ信玄いかりのあまりうんぜつ信玄家
やとも信玄ちいさのうんぜつ信玄家
をハ信玄ちいさのうんぜつ信玄家
あやまりなる行の城と申ハ
つまりうんぜつ申ハ
うんぜつ申ハ
しなの国と申ハ
ぬさ国の城と申ハ
ぬさ国の城と申ハ

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-048 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
21-049
国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-050 国立国会図書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

十三みやくとのゝうへ人くらゐ
ゝ家遠まつ[illegible]輝虎信玄ゝのゝ
信玄はけん三人の物と[illegible]方ゝのゝ輝虎
ゝゝ[illegible]
[illegible]
ゝの[illegible]十日[illegible]
[illegible]
[illegible]
一中月五年のゝゝ[illegible]
[illegible]

一[illegible]年ゝ[illegible]
ゝ[illegible]の一[illegible]
[illegible]武[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一うてかう組合之のやう一切之合物等
分合隠ハ洋中ニ於ハ高く拵ハとりくわ
うてかう組陳ものやうて有之事
一長柄物拵ハ物ハうちの事
分山ハ合うえの芸一隠ハ物そのる鬼ハ
別して出ハうちくの事
一安ハ安ハ一うちのうちゆう分戦場ハ
て用拵屋敷拵てうち分事
分うち物こうの事ハ
大小人ハ一ものの内一物とうの物ハ
うえ人ハ一ものの内一物ハ合物ハ日ハ相定行ハ
ハ次ハ出ハ出ハうちとて動ハ
うちの事
分
各々ハ分とハ物物拵ハ
つうの事小組うち物彩洞事
一事物ハ合事のハ
ハ物ハの玉集
一討死ハ古ハの人ハ
して武勇の人とハ
うえ人ハ

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元亀二年[illegible]月下旬[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

21-055

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
21-056
国立国会図書館

一拾月中旬に織田信長しかるべき人々
家臣のものもし[illegible]
を分[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1
21-058

病人の寿命を延べ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

甲陽軍鑑　３５冊　WA３２－１

２１－０５９
国立国会図書館